

# 2017年3月期第2四半期 決算説明会 プレゼンテーション資料

2016年11月28日

東証一部 証券コード 3023



**ラサ商事株式会社**

<http://www.rasaco.co.jp/>

## INDEX

### I. 決算の概要

- 1. 決算概要(連結)(セグメント別) …P 4
- 2. 損益計算書(連結、個別) …P 6
- 3. 部門別の概況 …P 8
- 4. 貸借対照表(連結、個別) …P14
- 5. キャッシュ・フロー(連結) …P18

### II. 2017年3月期 業績見通し

- 1. 連結業績見通し …P20
- 2. 業績見通し …P21
- 3. 配当 …P22

### III. 中期経営計画の進捗

- 1. 中期経営計画 基本方針 …P24
- 2. 中期経営計画 経営目標 …P25
- 3. 中期経営計画 重点施策 …P26
- 4. 「収益基盤の更なる強化」の概要 …P27
- 5. 「収益基盤の更なる強化」に向けた取り組み …P28

### 参考資料

- ・用語集 …P32

# I. 決算の概要

## 1. 2017年3月期第2四半期 ①決算概要(連結)

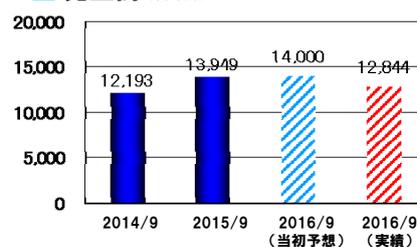
### ● 経営環境

- 輸出・生産面に鈍さが見られるものの緩やかな景気回復基調は継続
- 設備投資は、緩やかな増加基調にある

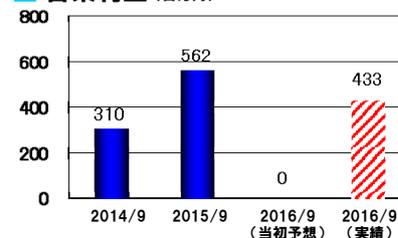
### ● 決算概要

- 資源価格低迷の影響等から前年同期比では減収減益
  - 新規ポンプ類の販売や、メンテナンス事業が堅調に推移したことから利益面では当初予想を上回る
- ・売上高・・・128億4千4百万円(前年同期比▲7.9%)  
 ・営業利益・・・4億3千3百万円(前年同期比▲23.0%)  
 ・経常利益・・・4億6千4百万円(前年同期比▲22.9%)

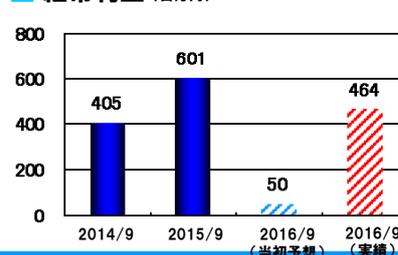
■ 売上高 (百万円)



■ 営業利益 (百万円)

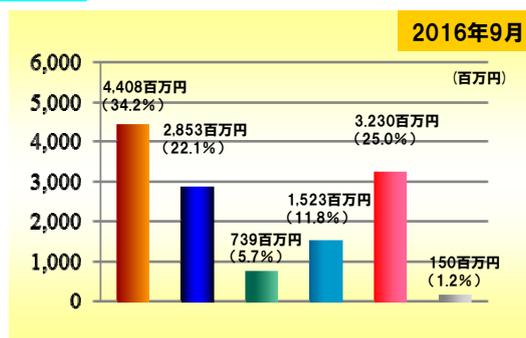


■ 経常利益 (百万円)

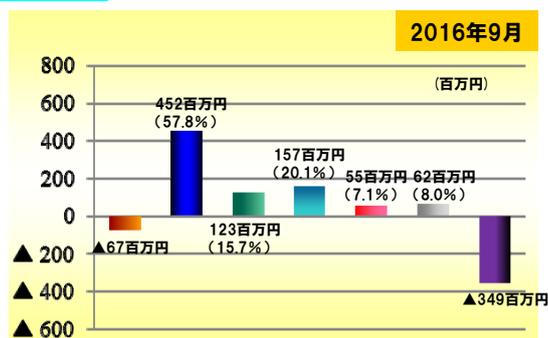


# 1. 2017年3月期第2四半期 ②決算概要(セグメント別)

## ● 売上高



## ● 営業利益



注)連結営業利益構成比は、  
全社費用を除く  
報告セグメント合計を分母  
として算出。

# 2. 2017年3月期第2四半期 ①連結損益計算書

(単位:百万円・%)

	前年第2四半期 (2015.9)		当第2四半期 実績(2016.9)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	13,949	100.0	12,844	100.0	▲1,105
資源・金属素材関連	5,194	37.1	4,408	34.2	▲785
産機・建機関連	3,387	24.2	2,853	22.1	▲533
環境設備関連	555	4.0	739	5.7	184
プラント・設備工事関連	1,406	10.0	1,523	11.8	117
化成品関連	3,318	23.7	3,230	25.0	▲88
不動産賃貸関連	149	1.1	150	1.2	1
内部相殺	▲60	-	▲61	-	▲1
売上総利益	2,497	17.9	2,307	18.0	▲189
販売費及び一般管理費	1,934	13.9	1,874	14.6	▲60
営業利益	562	4.0	433	3.4	▲129
営業外収支	38	0.3	30	0.2	▲8
経常利益	601	4.3	464	3.6	▲137
特別利益	4	0.0	-	-	▲4
特別損失	0	0.0	0	0.0	0
税金等調整前四半期純利益	606	4.4	463	3.6	▲142
親会社株主に帰属する四半期純利益	391	2.8	347	2.7	▲43
1株当り四半期純利益(円)	34.19		30.44		

## 2. 2017年3月期第2四半期 ②個別損益計算書(ラサ商事)

(単位:百万円・%)

	前年第2四半期 (2015.9)		当第2四半期 実績(2016.9)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	9,137	100.0	8,001	100.0	▲1,135
資源・金属素材関連	5,194	56.9	4,408	55.1	▲785
産機・建機関連	3,387	37.1	2,853	35.7	▲533
環境設備関連	555	6.1	739	9.2	184
売上総利益	1,975	21.6	1,762	22.0	▲213
販売費及び一般管理費	1,625	17.8	1,604	20.1	▲21
営業利益	349	3.8	157	2.0	▲192
営業外収支	30	0.3	28	0.4	▲2
経常利益	379	4.2	185	2.3	▲194
特別利益	0	0.0	0	0.0	0
特別損失	0	0.0	0	0.0	0
税引前四半期利益	379	4.2	185	2.3	▲194
四半期純利益	244	2.7	119	1.5	▲125

## 3. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

- 主力のジルコンサンドは、前年度下期に市況価格が下落後、安定はしているものの価格上昇には至らず、前年同期比減収
- 金属シリコンは、販売数量は増加したものの、販売単価下落の影響により前年同期比減収

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2015.9)	当期 (2016.9)	増減額	増減率	前期 (2015.9)	当期 (2016.9)	増減額	増減率
ジルコンサンド	1,392	1,226	▲166	▲11.9	1,413	1,255	▲158	▲11.2
チタン原料	706	537	▲169	▲23.9	730	594	▲136	▲18.6
輸入原料	551	463	▲88	▲16.0	658	512	▲146	▲22.2
金属シリコン	2,177	1,801	▲376	▲17.3	2,269	1,678	▲591	▲26.0
クローラクレーン	134	137	3	2.2	158	188	30	19.0
その他商品	232	242	10	4.3	226	284	58	25.7
合計	5,194	4,408	▲785	▲15.1	5,457	4,513	▲944	▲17.3

### 3. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 売上高は産業機械、建設機械ともに減少
- 受注高は前年同期比小幅増

【産機】 ワーマンポンプなどメンテナンス事業が堅調に推移したことにより増加

【建機】 海外向けシールド掘進機が苦戦したことにより減少

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2015.9)	当期 (2016.9)	増減額	増減率	前期 (2015.9)	当期 (2016.9)	増減額	増減率
ワーマンポンプ	1,700	1,468	▲ 232	▲ 13.6	1,493	1,574	81	5.4
ヒドロスタルポンプ	408	415	7	1.7	784	895	111	14.2
その他ポンプ	191	214	23	12.0	191	241	50	26.2
その他産業機械	482	326	▲ 156	▲ 32.4	541	556	15	2.8
産業機械 計	2,782	2,424	▲ 358	▲ 12.9	3,012	3,267	255	8.5
シールド掘進機	447	360	▲ 87	▲ 19.5	850	701	▲ 149	▲ 17.5
その他建設機械	157	67	▲ 90	▲ 57.3	89	74	▲ 15	▲ 16.9
建設機械 計	604	428	▲ 176	▲ 29.1	940	775	▲ 165	▲ 17.6
合計	3,387	2,853	▲ 533	▲ 15.8	3,952	4,043	91	2.3

### 3. 部門別の概況 ③環境設備関連

- プツマイスターポンプの部品売上が寄与し、売上高・受注高とも前年同期比で大幅増加

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2015.9)	当期 (2016.9)	増減額	増減率	前期 (2015.9)	当期 (2016.9)	増減額	増減率
水砕スラグ製造設備	212	262	50	23.6	214	281	67	31.3
プツマイスター高圧 ピストンポンプシステム	227	316	89	39.2	342	512	170	49.7
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	115	160	45	39.1	149	177	28	18.8
合計	555	739	184	33.2	707	971	264	37.3

### 3. 部門別の概況 ④プラント・設備工事関連

- 旭テックが担うセグメント
- 工事関連が順調に推移、受注動向も堅調

(単位:百万円・%)

	売上高				受注高			
	前期 (2015.9)	当期 (2016.9)	増減額	増減率	前期 (2015.9)	当期 (2016.9)	増減額	増減率
プラント・設備工事関連	1,406	1,523	117	8.4	1,898	2,055	157	8.3

### 3. 部門別の概況 ⑤化成品関連

- イズミが担うセグメント
- 自動車向けなどの商品が安定的に推移したものの、原油価格低下の影響などから減収

(単位:百万円・%)

	売上高			
	前期 (2015.9)	当期 (2016.9)	増減額	増減率
化成品関連	3,318	3,230	▲88	▲2.7

### 3. 部門別の概況 ⑥不動産賃貸関連

- ラサ・リアルエステートの担うセグメント
- 当社グループ全体での一体運営を徹底

(単位:百万円・%)

	売上高			
	前期 (2015.9)	当期 (2016.9)	増減額	増減率
不動産賃貸関連	149	150	1	0.7

\*内部取引調整後の売上高88百万円

### 4. 連結貸借対照表 ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2016.3)		当第2四半期末 (2016.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	18,253	64.1	16,158	59.8	▲2,094	▲11.5
現金及び預金	3,059		3,755			
受取手形及び売掛金	8,213		6,407			
完成工事未収入金	1,073		524			
商品及び製品	4,003		3,159			
未成工事支出金	1,571		2,042			
その他	332		268			
固定資産	10,233	35.9	10,844	40.2	610	6.0
有形固定資産	7,718	(27.1)	7,724	(28.6)	6	0.1
建物及び構築物	2,151		2,095			
土地	5,470		5,470			
その他	97		159			
無形固定資産	102	(0.4)	69	(0.3)	▲32	▲31.8
投資その他資産	2,412	(8.5)	3,049	(11.3)	637	26.4
投資有価証券	1,676		2,306			
その他	736		743			
資産合計	28,486	100.0	27,002	100.0	▲1,484	▲5.2

## 4. 連結貸借対照表 ②負債・資本の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2016.3)		当第2四半期末 (2016.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動負債</b>	9,904	(34.8)	8,302	(30.8)	▲1,601	▲16.2
支払手形及び買掛金	3,877		3,567			
短期借入金	2,930		1,280			
1年内返済予定の長期借入金	1,192		1,444			
1年内償還予定の社債	534		386			
未払法人税等	348		162			
その他	1,021		1,462			
<b>固定負債</b>	6,537	(23.0)	6,459	(23.9)	▲77	▲1.2
社債	169		80			
長期借入金	5,444		5,539			
繰延税金負債	483		433			
退職給付引当金	247		229			
その他	192		176			
<b>負債合計</b>	16,441	57.7	14,761	54.7	▲1,679	▲10.2
株主資本	11,937	(41.9)	12,167	(45.1)		
その他の包括利益累計額	107		73			
<b>純資産合計</b>	12,045	42.3	12,240	45.3	195	1.6
<b>負債純資産合計</b>	28,486	100.0	27,002	100.0	▲1,484	▲5.2
<b>自己資本比率(%)</b>	42.3		45.3		3.0	

## 4. 個別貸借対照表 ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2016.3)		当第2四半期末 (2016.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動資産</b>	12,847	70.5	10,096	60.8	▲2,751	▲21.4
現金及び預金	2,354		2,153			
受取手形	1,739		1,274			
売掛金	4,614		3,356			
商品	3,778		2,973			
その他	360		337			
<b>固定資産</b>	5,382	29.5	6,508	39.2	1,125	20.9
<b>有形固定資産</b>	684	(3.8)	670	(4.0)	▲13	▲2.0
建物及び構築物	149		145			
土地	464		464			
その他	70		60			
<b>無形固定資産</b>	55	(0.3)	38	(0.2)	▲16	▲29.7
<b>投資その他資産</b>	4,643	(25.5)	5,798	(34.9)	1,154	24.9
投資有価証券	775		756			
子会社及び関係会社株式	3,119		4,279			
保険積立会	475		490			
その他	272		271			
<b>資産合計</b>	18,230	100.0	16,604	100.0	▲1,625	▲8.9

## 4. 個別貸借対照表 ②負債・資本の部

(単位:百万円・%)

	前期末 (2016.3)		当第2四半期末 (2016.9)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
<b>流動負債</b>	<b>5,639</b>	<b>(30.9)</b>	<b>4,062</b>	<b>(24.5)</b>	<b>▲1,577</b>	<b>▲28.0</b>
支払手形	1,155		929			
買掛金	1,129		1,064			
短期借入金	1,380		180			
1年内返済長期借入金	785		963			
1年内償還予定の社債	520		370			
未払法人税等	259		61			
その他	410		493			
<b>固定負債</b>	<b>1,884</b>	<b>(10.3)</b>	<b>1,845</b>	<b>(11.1)</b>	<b>▲38</b>	<b>▲2.1</b>
社債	160		80			
長期借入金	1,490		1,562			
退職給付引当金	196		178			
その他	37		24			
<b>負債合計</b>	<b>7,524</b>	<b>41.3</b>	<b>5,908</b>	<b>35.6</b>	<b>▲1,615</b>	<b>▲21.5</b>
<b>純資産合計</b>	<b>10,705</b>	<b>58.7</b>	<b>10,695</b>	<b>64.4</b>	<b>▲10</b>	<b>▲0.1</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>18,230</b>	<b>100.0</b>	<b>16,604</b>	<b>100.0</b>	<b>▲1,625</b>	<b>▲8.9</b>
<b>自己資本比率(%)</b>	<b>58.7</b>	<b>-</b>	<b>64.4</b>	<b>-</b>	<b>5.7</b>	

## 5. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 (2015.9)	当第2四半期 (2016.9)	当第2四半期の主要項目
<b>営業キャッシュ・フロー</b>	<b>49</b>	<b>3,102</b>	税金等調整前四半期純利益 463 減価償却費 101 のれん償却費 12 売上債権増減額▲増加 2,355 たな卸資産増減額▲増加 374 仕入債務増減額▲減少 ▲395 未成工事受入金の増減額▲減少 447 法人税等の支払額 ▲335
<b>投資キャッシュ・フロー</b>	<b>51</b>	<b>▲753</b>	有形固定資産の取得による支出 ▲88 関係会社株式の取得による支出 ▲659 保険積立金の積立による支出 ▲64
<b>財務キャッシュ・フロー</b>	<b>▲759</b>	<b>▲1,651</b>	短期借入金の純増減額▲減少 ▲1,650 長期借入による収入 1,190 長期借入金の返済による支出 ▲843 社債の償還による支出 ▲237 配当金の支払額 ▲86
<b>換算差額</b>	<b>▲1</b>	<b>▲0</b>	
<b>増減</b>	<b>▲659</b>	<b>696</b>	
<b>期首残高</b>	<b>3,374</b>	<b>3,059</b>	
<b>期末残高</b>	<b>2,715</b>	<b>3,755</b>	

## II. 2017年3月期業績見通し

### 1. 2017年3月期の連結業績見通し

- 2016年10月31日付で2017年3月期通期連結業績予想の修正についてニュースリリースを開示済
- 売上高は当初予想を減額、利益面は増額

(単位:百万円・%)

【連結】	2016年 3月期 実績 ①	2017年 3月期 当初予想 ②	2017年 3月期 修正予想 ③	当初予想 対比 ④ (③-②)	当初予想 対比 増減率 ④/②	前期比 ⑤(③-①)	前期比 増減率 ⑤/①
売上高	30,523	32,000	30,700	▲1,300	▲4.1	177	0.6
営業利益	1,421	850	1,030	180	21.2	▲391	▲27.6
経常利益	1,492	950	1,150	200	21.1	▲342	▲22.9
親会社株主に帰属 する当期純利益	944	608	857	249	41.0	▲87	▲9.3
1株当り当期純利益 (円)	82.58	53.26	75.10	21.84	41.0	▲7.48	▲9.1

## 2. セグメント別業績見通し

### ● セグメント別売上高見通し

(単位:百万円・%)

【連結】	2016年3月期 実績 ①	2017年3月期 当初予想 ②	2017年3月期 修正予想 ③	当初予想 対比 ④ (③-②)	当初予想 対比 増減率 ④/②	前期比 ⑤(③-①)	前期比 増減率 ⑤/①
資源・金属素材関連	10,650	11,200	10,100	▲1,100	▲9.8	▲550	▲5.2
産機・建機関連	8,020	8,300	8,500	200	▲2.4	480	6.0
環境設備関連	1,312	1,600	1,400	▲200	▲12.5	88	6.7
プラント・設備工事関連	3,590	3,900	3,900	0	0	310	8.6
化成品関連	6,770	6,700	6,500	▲200	▲3.0	▲270	▲4.0
不動産賃貸関連	301	300	300	0	0	▲1	▲0.3

- 資源・金属素材関連は、資源価格低迷の影響を受け前期比減収
- 産機・建機関連は、ポンプ本体及び部品類の販売が順調により前期比増収
- 環境設備関連は、ブツマイスターポンプなどの販売増により前期比増収
- プラント・設備工事関連は、堅調な受注を背景に前期比増収
- 化成品関連は、原油価格低下の影響などから前期比減収
- 不動産賃貸関連は、安定的に推移し前期と同水準

## 3. 配当

### 配当実績 (1株当たり)

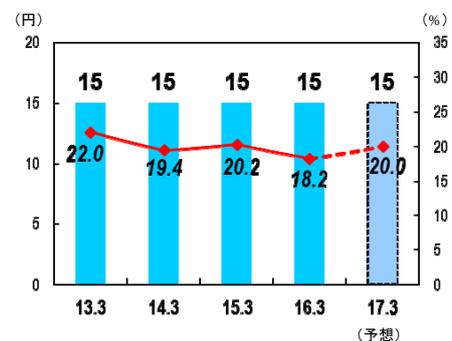
● 2016年3月期実績 **15円**

【中間】7.5円【期末】7.5円

● 2017年3月期予想 **15円**

【中間】7.5円【期末】7.5円

### ■ 配当金・配当性向の推移



### 配当方針

安定配当



配当性向  
25%前後  
の維持

# III. 中期経営計画の進捗

## 1. 中期経営計画 基本方針

### 「Next Stage Rasa 2018 ～80周年への布石～」

#### 中期経営計画 基本方針

- ① 変革の好機と捉え、重点施策の推進により企業価値向上を目指す
- ② 創立80周年に向け、専門商社の枠組みを超えた付加価値創出企業として、持続的な成長を目指す
- ③ 当中計から配当方針を見直し、株主価値の極大化に努める。

## 2. 中期経営計画 経営目標（連結）



【中期経営計画期間の3カ年の業績見通し】

- 資源・金属素材関連事業を除く5事業は、堅調な推移を計画
- 資源・金属素材関連事業については、
  - ・2017/3期は、大幅減益で赤字の見込み（商品相場下落を織り込んだ計画）
  - ・2018/3期以降は、赤字を脱却し業績回復（鉱産物在庫水準の見直しによる）

これらにより…

- 2017/3期は減益を計画
- 2018/3期以降は利益改善が進む見通し

【経営目標】（単位：百万円）	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3
売上高	30,523	32,000	34,000	38,000
営業利益	1,421	850	1,300	1,800
経常利益	1,492	950	1,400	1,900
親会社株主に帰属する当期純利益	944	608	896	1,216
【目標とする経営指標】 2019/3 目標値				
自己資本当期純利益率（ROE）	8%以上			
売上高経常利益率	5%以上			
自己資本比率	50%以上			

25

## 3. 中期経営計画 重点施策

「Next Stage Rasa 2018 ～80周年への布石～」

中期経営計画  
重点施策

2つのテーマに取り組む。

1

収益基盤の更なる強化

- ・各事業における強みの強化と新たな収益基盤の創出
- ・事業間シナジーの創出

2

経営基盤の更なる強化

- ・新基幹システムの導入
- ・グループ企業間の人的交流推進
- ・コーポレートガバナンスの更なる充実

26

## 4. 「収益基盤の更なる強化」の概要

### 【各事業における強みの強化と新たな収益基盤の創出】

#### 資源・金属素材関連

- 相場変動に対応できる鉱産物在庫水準の見直し

#### 産機・建機関連

- 国内シェアNo.1のスラリーポンプにおける更なるシェア拡大
- BCP関連製品(多目的可搬式ポンプ)の販売拡大

#### 環境設備関連

- コンサルティング営業によるポンプ関連製品の販売強化
- 石炭ガス化複合発電所向けのラサシステム導入推進

#### プラント・設備工事関連

- 既存顧客の設備更新需要の取り込み強化
- 新工場稼働による新規事業の拡大  
(ステンレス配管事業・ポンプ整備事業など)

#### 化成品関連

- 国内顧客の海外生産移管に対応した海外向け需要の取り込み強化

#### 不動産賃貸関連

- グループ遊休地の更なる有効活用の推進  
・飯能工場跡地の有効活用  
・八潮駐車場の事業化検討 など

27

## 5. 「収益基盤の更なる強化」に向けた取り組み

### ① 新製品BETSY販売開始



浸水被害対策など様々な現場で使用可能な多目的可搬式エンジンポンプユニット「BETSY」を2016年5月下旬より販売開始  
※BETSY(ベツシー)とは  
Bifunctional Efficient Transfer-pump Systemの略

#### 【BETSYの特徴】

- ✓ 自吸式無閉塞型ポンプの採用で異物が詰まりにくい
- ✓ コンパクト設計だから牽引・積載が容易
- ✓ ディーゼルエンジンの採用で低燃費、且つ静音設計
- ✓ 水位変動を検知して自動制御運転が可能

28

## 5. 「収益基盤の更なる強化」に向けた取り組み

### ②旭テック新工場稼働準備の進捗状況



旭テック本社、第Ⅰ・Ⅱ工場



第Ⅰ工場内観

#### 旭テック(株)概要

- 本社:千葉県袖ヶ浦市
- 2014年12月子会社化。プラント・設備工事関連事業を担う
- 京葉臨海コンビナートに施設を展開する約50社の大手企業のプラントについて、建設工事の設計・施工からメンテナンス工事まで一貫対応、元受比率も50%
- 袖ヶ浦の自社工場では、プラント等で使用する各種の配管などの加工を行う
- 大手ポンプメーカーの認定工場

現在  
新工場(第Ⅰ工場)稼働に向け準備中

2017年4月より新工場稼働  
特殊配管の加工  
大型回転機の整備を開始

## 5. 「収益基盤の更なる強化」に向けた取り組み

### ③飯能工場跡地の有効活用推進に向けた取り組み

イズミ(株)飯能工場跡地を売却し、今後新たな収益物件を購入し  
不動産賃貸関連事業の収益力向上を図るもの

遊休不動産



収益物件

売却代金プラス自己資金または借入金による買換え

## 参考資料

### 用語集 ① 資源・金属素材関連

用語	内容
ジルコンサンド	オーストラリア、南アフリカが2大生産地である天然鉍石。「融点が高い」「比重が大きい」「硬い」などの特性を活用し、スマートフォンやタブレットPCのタッチパネルの素材、風力発電用の部品向けジルコン加工品の原料、半導体業界でのICチップの鏡面加工研磨材や、PDP（プラズマディスプレイパネル）の原料など産業界において幅広く使用されている。
金属シリコン	珪石(ケイ素《Si》と酸素《O2》が主原料)を電気炉で精錬し、酸化物を還元したものの。自然エネルギーとしての太陽電池用シリコンウエハー原料、半導体シリコンウエハー原料、自動車用アルミ合金添加物などに使用されている。
ジルコニア	ジルコンサンドを電気炉で熔融し、酸化ジルコニウムを98%以上にした製品。「融点が高い」「強度が大きい」「化学的に中性で安定している」などの特徴がある。液晶やプラズマディスプレイガラスの熔融耐火材や、自動車や電車の車両のブレーキ材料、光学レンズ研磨材など幅広く使用されている。

## 用語集 ② 産機・建機関連

用語	内容
スラリーポンプ	固形物を含む液体の混濁液(スラリー液)を送るポンプ。
ワーマンポンプ	オーストラリアのワーマン社で開発されたポンプ。 液体の性状に合わせて接液部の材質をゴム、金属の組合せに変更できる高機能なポンプ。磨耗性や腐食性のある液体や強酸・強アルカリスラリー液を送ることが出来る。また磨耗した接液部を交換することで半永久的に使用することができるという特徴を持つ。 化学、排水処理、製鉄、非鉄金属、発電所、鉱業、精錬、製紙、窯業、食品、上下水道等多岐に渡る分野で使用されている。
ヒドロスタルポンプ	スイスのヒドロスタル社で開発されたポンプ。 もともとは水産業で魚を傷つけずにポンプ搬送することを目的に開発されたもので、その特徴から壊れやすい固形物の非破壊流送や、長い繊維状のものを閉塞させることなく送液することができる。この特徴を生かして、下水処理場、し尿処理場を主として、製紙(湿式不織布)、食品、化学等で幅広く使用されている。
シールド掘進機	地下鉄や下水道などのトンネルの掘削に使用される機械。 当社の建設機械における主力商品で、当社は下水管やケーブル管理設用の比較的小さな口径の製品をインフラ整備用に納入している。

## 用語集 ③ 環境設備関連

用語	内容
水砕スラグ製造設備	製鉄所の高炉の付帯設備。 製鉄業界では「ラサ・システム」として世界的に知られている。 鉄製造過程で発生する副産物の「熔融スラグ」を、セメント原料などとして再利用できるように高圧水で急冷・粒状化する設備で、製鉄所においては不可欠な設備となっている。
IGCC	石炭ガス化複合発電。 「Integrated coal Gasification Combined Cycle」の略。 石炭をガス化して得られる高温ガスをガスタービン燃料として発電すると同時に、石炭ガス化炉で得られる蒸気とガスタービンの排熱を回収して得られる蒸気を用いて蒸気タービンでも発電を行う高効率の複合発電技術。 IGCCでは、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせることによって高い熱効率が達成される。
IGFC	石炭ガス化燃料電池複合発電。 「Integrated coal Gasification Fuel Cell combined cycle」の略。 石炭をガス化して得られるガス化燃料を利用し、燃料電池、ガスタービン、蒸気タービンの3種類の発電形態を組み合わせた、トリプル複合発電を行う高効率発電技術。実現すれば55%以上の送電端効率が可能となり、既存の微粉炭火力に比べてCO2排出量を約30%低減することが見込まれる。
CCT	クリーンコールテクノロジー 「Clean Coal Technology」の略。 石炭を燃やしたときに発生する二酸化炭素・硫黄酸化物・窒素酸化物などの有害物質を減少させる技術。



